

カムチベット語察瓦龍 [Tshawarong] 方言の音声記述と語彙

鈴木 博之
(復旦大学)

Phonetic Description and Vocabulary of Khams Tibetan Tshawarong [Chawalong] Dialect

SUZUKI, Hiroyuki
Fudan University

Khams Tibetan Tshawarong dialect is spoken in Chawalong Township, Chayu County, Linzhi Municipality, Tibet Autonomous Region, China. Its dialectal classification within Khams Tibetan has not been examined although there is a claim that it forms an independent dialect group, that should be verified. This article describes phonetic and dialectal characteristics of the Tshawarong dialect with a short introduction to the sociolinguistic background. First, we analyse its phonological aspects such as suprasegmentals, vowels, and consonants. Second, we present its sound correspondences with Written Tibetan forms to characterise its dialectal features. Third, some morphological features on the directional prefix system of the Tshawarong dialect are described. Finally, we provide a wordlist (ca. 1100 words) of Tshawarong Tibetan at the end of the article.

キーワード: チベット系諸言語、カムチベット語、察隅県、語彙

Keywords: Tibetic languages, Khams Tibetan, rDzayul County, vocabulary

1. はじめに
2. Tshawarong 方言の音体系概観
3. 超分節音
4. 母音
5. 子音
6. 藏文との対応関係による Tshawarong 方言の特徴づけ
7. 形態論に関する注目点

1. はじめに

本稿では、チベット自治区林芝 [Nying-khri]¹市察隅 [rDza-yul] 県察瓦龍 [Tsha-ba-rong] 郷則拉 [rTse-la] 行政村で話されるカムチベット語 Tshawarong (察瓦龍) 方言の語彙リスト (約 1100 項目) を提供する。リストに先立ち、察隅県の社会言語学的背景を紹介し、音体系を提示する。

¹ チベットの地名など固有名詞で漢字で音写されているものには、[] 内にチベット文語 (藏文) 形式を添える。なお、藏文は de Nebesky-Wojkowitz (1956) に基づく転写方法を用いる。



1.1. 察隅県のチベット族の言語と Tshawarong 方言の言語所属

察隅県は、チベット文化圏の伝統的な地理概念に照らせば、カムと呼ばれる地域の南西端にあたる。南部はインドのアルナーチャル・プラデシュ及びミャンマーのカチン州と接し、非チベット文化圏に入る。北部は昌都 [Chab-mdo] 市の八宿 [dPa'-shod] 県及び左貢 [mDzo-sgang] 県と接し、南東部は雲南省迪慶 [bDe-chen] 州および怒江州と接する。南面を除いては、カム地域に囲まれている。主要な交通路は県中央を南北につなぎ、北端で川藏公路 (国道 318 号) と接続する道がある。歴史的には、察隅県のあたりはサンガ・チューゾン [Sangs-sngag Chos-rdzong] と呼ばれ、政治、経済、宗教など各方面でラサとのつながりが深かった²。

察隅県のチベット族の言語状況について概観できる資料は未見である。また、同地に外国人が立ち入ることは困難を極める。ここでは、筆者が周辺地域における調査や研究者との情報交換を通じて収集した情報をもとに、同地の言語状況を整理してみたい。

察隅県には複数の少数民族言語が分布する (Roche & Suzuki 2018)。そのうち、中国の身分証上の民族分類でチベット族とされる人々が話す言語には、次のものが挙げられる。

- カムチベット語 (Khams)
- セク語 (gSerku³)
- 松林語⁴
- ザクリン語 (Zakhring/扎話⁵)

いずれも研究の蓄積はほとんどない。カムチベット語は地域共通語として用いられるというが、察隅県内に分布する方言は決して単一ではない。同県には竹瓦根鎮、上察隅鎮、下察隅鎮、古玉郷、古拉郷、察瓦龍郷の6つの郷鎮があり、カムチベット語はそのすべてに分布する。このうち、上察隅鎮および古玉郷で話される方言は mBathang (巴塘) 方言⁶に近い。これは同地のカムチベット語話者が現在の巴塘県一帯からの移民によること⁷と関係がある。下察隅鎮のカムチベット語は未確認であるが、一部の話者はミャンマーに分布するカムチベット語話者と近親関係にある⁸。竹瓦根鎮、古拉郷、察瓦龍郷のカムチベット語はそれぞれ異なり、また周辺の諸方言とも異なるという。それゆえ、今後も記述研究を積み重ねることが必要である。

² 《西藏百科全書》(2005: 53-54) 参照。歴史の記述については、山口 (1983) を参照。

³ チベット・ビルマ系言語の1つで、察隅県に北接する左貢 [mDzo-sgang] 県で話されるラモ語に非常に近い特徴をもつ。羌語支に分類されると見られる。Tashi Nyima & Suzuki (2019) 参照。

⁴ 宋成 (2019) の記述がある。チベット・ビルマ系言語の1つであるが、下位分類は不明である。

⁵ チベット・ビルマ系言語の1つであるが、下位分類は不明で混合語という説もある。劉潔 (2015)、宗曉哲等 (2017) 参照。

⁶ 巴塘県に分布するカムチベット語もまた単一ではなく、複数の方言群からなる。ここで言及する mBathang 方言というのは、夏瓊鎮一帯で話される方言 (南路方言群) を指す。その音体系については、格桑居冕 (1985) の記述を参照。

⁷ 北京で行った筆者によるインタビューに基づく (2011 年)。

⁸ ミャンマーのカムチベット語については、鈴木 (2012) を参照。

1.2. 察瓦龍郷の言語状況

察瓦龍郷は察隅県で最も人口が多く、45の自然村を擁する（《西藏百科全書》2005: 54；2002年ごろの資料に基づく）。郷内のカムチベット語母語話者によれば、カムチベット語の方言差異は小さいという。察隅県東城竹瓦根鎮のカムチベット語よりも、東接する雲南省迪慶州のカムチベット語のほうが相互理解度が高いという。この内省は、察瓦龍郷は迪慶州徳欽 [ˈJo] 県及び怒江州貢山県のカムチベット語分布地域と接していることと関連していると推察できる。ただし、徳欽県のカムチベット語話者は察瓦龍郷のカムチベット語を理解可能な変種と認識する一方、貢山県のカムチベット語話者はそのように考えていない⁹。察瓦龍郷と徳欽県のかかわりは非常に強く、その背景には梅里雪山 [Kha-ba dkar-po] の外回り巡礼路があることも関係する¹⁰。一方、察瓦龍郷と貢山県は同じ怒江流域であるものの、路上にはトゥルン（獨龍）族やヌン（怒）族の村落もあって、連続したカムチベット語の分布地域を形成していない¹¹。

なお、察瓦龍という名称は、同一のチベット語形式 Tsha-ba-rong としてチベットの伝統的な地理区分にもあり¹²、それが指す地域は、察瓦龍郷も含む察隅県から左貢県にかけての怒江流域一帯となる^{13, 14}。本稿で「Tshawarong 方言」と呼ぶものは、一義的に察瓦龍郷で話されるカムチベット語の変種を指す。

1.3. 本稿の構成

本稿の構成は、先に Tshawarong 方言の音体系を紹介した後、声調・母音・子音の順で具体例を挙げつつ考察を加える。そののち、蔵文との対応関係に基づいて方言の特徴づけを行う。

本稿で分析する言語資料は筆者の現地調査による一次資料に基づく。発話協力者はケゾン・ロドゥ [sKal-bzang Blo-gros] さんで、20代男性、察瓦龍郷則拉村出身である。調査は2018年、雲南省昆明市で行った。

2. Tshawarong 方言の音体系概観

ここではまず Tshawarong 方言の音体系全体について、超分節音、母音、子音、音節構造の順で紹介する。なお、分節音の表記には、鈴木 (2005)、朱曉農 (2010) および Suzuki (2016) に基づく体系を用い、超分節音の表記には Kitamura (1977) を参考にした表記法を用いる。

⁹ 貢山県のカムチベット語については、鈴木 (2014)、Suzuki (2017) を参照。

¹⁰ この巡礼路ならびに徒歩による交通路、地形に関する手頃な案内に、小林 (2006) と中村 (2012) がある。また、フランス国立図書館 (Bibliothèque nationale de France) に、フランスのチベット学者 Jacques Bacot が 1909 年に探索したカム地域の手書きの地図が所蔵されている。地図は *Itinéraire au Tibet oriental par Jacques Bacot 1909-1910* という名称の6枚組で、その5枚目に察瓦龍郷を含む地域が描かれている。

¹¹ 雲南省貢山県北部の言語事情については、Qin & Suzuki (2016) を参照。

¹² よく知られているのは Tsha-ba-sgang の名称で、察瓦龍郷から北部の、怒江と瀾滄江に挟まれた山地を指す。詳細は Wylie (1962) を参照。

¹³ 察瓦龍という名称の歴史的な位置づけ、地理範囲の定義、名称の来歴などについては、貢布多加 (2020) が詳しい。

¹⁴ これについては、さらに複雑な事情が起こる。怒江が rGyal-mo rNgul-chu と呼ばれることから、rGyal-mo Tsha-ba-rong と呼ばれ、ギャロン地域 (四川省) と同一名称になる。チベットの史書でも、両地域について若干混乱が認められるようである。この背景が分布言語とも関連する詳細については、Tashi Nyima & Suzuki (2019) 参照。

2.1. 超分節音

Tshawarong 方言の超分節音はピッチの高低による、語を単位とする声調として実現され、4種が認められる。

ˉ : 高平 ˊ : 上昇 ˋ : 下降 ˆ : 上昇下降

2.2. 母音

以下の母音について、長短および鼻母音/非鼻母音の対立が存在する。

i	u	ɯ	u
e	ə	ə	o
ɛ		ɔ	
a		ɑ	

2.3. 子音

子音連続の構成要素としてのみ現れるものも含めた一覧¹⁵は次のようである。

		両唇	歯茎	そり舌	硬口蓋 前 後	軟口蓋	声門
閉鎖音	無声有気	p ^h	t ^h	t ^h		k ^h	
	無声無気	p	t	t̥		k	ʔ
	有声	b	d	d̥		g	
破擦音	無声有気		ts ^h		tɕ ^h		
	無声無気		ts		tɕ		
	有声		dz		dʒ		
摩擦音	無声有気		s ^h		ɕ ^h	x ^h	
	無声無気		s		ɕ	x	h
	有声		z		ʒ	ɣ	ɦ
鼻音	有声	m	n		ɲ	ŋ	
	無声	m̥	n̥		ɲ̥	ŋ̥	
流音	有声		l	r			
	無声		l̥				
半母音	有声	w			j		

2.4. 音節構造

音節構造は、鈴木 (2005) を参照して以下のように記述する。

^cC_iGVC

このうち C_i (主子音) と V (音節核の母音) が必須である。

先行子音^cには、前鼻音または前気音が現れる (5.2.1、5.2.2 参照)。

わたり音 G には/w, j/が現れる。

¹⁵ ただし前鼻音にのみ用いる音標文字は除く。

末子音については、/ʔ, w, j/が現れる。

3. 超分節音

Tshawarong 方言で弁別的な超分節音素は、ピッチの高低による声調の対立で、高平調、上昇調、下降調、上昇下降調の4種に分かれる。それらは語単位でかかる。ただし3音節以上の語の場合、第1、第2音節までで弁別的な声調の型を形成し、第3音節以降は [22] 程度の高さで現れる。

以下に、語の音節別の調値を5段階で表示した例を挙げる (S=音節)。初頭子音の性質によって、若干具体的な調値に異なりがあるが、弁別的ではない。

	高平調	上昇調	下降調	上昇下降調
1 音節語	[˦] niʔ [S ⁵⁵] 「目」	[˦] na [S ²⁴] 「魚」	[˦] ni: [S ⁵³] 「二」	[˦] lu: [S ²⁴³] 「ベルト」
2 音節語	[˦] ni: [˨] su [S ⁵⁵ S ⁵⁵] 「休憩」	[˦] nə ma [S ²⁴ S ⁵⁵] 「太陽」	[˦] ni: [˨] çi: [S ⁵⁵ S ²²] 「めがね」	[˦] nɛ: ts [˨] iʔ [S ²⁴ S ⁵³] 「危険」

4. 母音

母音には長短および鼻母音/非鼻母音が弁別的であるが、長短は非鼻母音についてのみ対立する。

以下に母音の舌位置に着目して具体例を掲げる。

	短母音例	長母音例	鼻母音例
i	[˦] mi 火	[˦] ni: 二	[˦] mĩ 名前
e	[˦] xa [˨] ɬe 鬼	[˦] ts [˨] e: 日にち	[˦] s [˨] a [˦] bɛ 種
ɛ	[˦] hɛ [˦] gu 家	[˦] ke: 階段	[˦] ge [˦] gɛ 教師
a	[˦] sha 土	[˦] sa: 金	[˦] ljã 道
ɑ	[˦] dʒɑ [˦] ba 泥	[˦] ka [˨] tsɑ: 昨日	[˦] nã 天
ɔ	[˦] ʔa zɔ 母の兄弟	[˦] nɔ: zɛ 衣服	[˦] lɔ 牛
o	[˦] go 頭	[˦] tɕo: 小便	[˦] na k [˨] ɔ 鼻の穴
u	[˦] shu 齒	[˦] shu: ljɔ 鋸	[˦] pu mũ 娘
ɯ	[˦] ʔa k [˨] ɯ 父の兄弟	[˦] ku: mɔ 泥棒	[˦] gũ k [˨] a 冬
ə	[˦] rə 山	[˦] ɕə: pə 幸せな	[˦] gɔ̃ [˨] ɬɯ ぶどう
ɨ	[˦] ɬuʔ 雷	[˦] ɬu: 騾馬	[˦] ŋũ 銀
ə	[˦] gu [˦] lɔʔ 禿げの人	[˦] na t [˨] ɔ: 伝記	[˦] gɛ [˨] mɔ 寺

5. 子音

子音は、単子音および子音連続に分けて具体例を挙げつつ考察する。

5.1. 単子音

単子音の具体例は、可能な限り2例ずつ挙げる。

5.1.1. 閉鎖音・破擦音

Tshawarong 方言は閉鎖音・破擦音について基本的に無声有気、無声無気、有声の3系列を有する。

/t^h, t, d/はしばしば破擦性をもつが、常に破擦音として実現するわけではないため、閉鎖音として扱う。有声音の単子音の例は比較的少なく、あるとしても語中に現れるのが通例である。/d, dz/は単子音として出現しない。

	例語	語義	例語	語義
p ^h	ˈp ^h aʔ	ぶた	ˈp ^h ə rə	ボウル
p	ˈpa ŋa:	倉庫	ˈpə ^h dɯ:	はさみ
b	ˈk ^h əʔ bə	針		
t ^h	ˈt ^h aʔ rē	遠い	ˈt ^h ə k ^h ɛ:	灰色の
t	ˈta rī	今	ˈta	そして
d	該当なし			
t ^h	ˈt ^h aʔ	血	ˈt ^h ə	万
t	ˈta pa	僧侶	ˈtə	ナイフ
d	ˈci dɯ	歌舞	ˈtɕə dɯʔ	十六
k ^h	ˈŋo k ^h a	額	ˈk ^h ə fia	雪
k	ˈka: ra	蜘蛛	ˈkə wa	柱
g	ˈŋuʔ gə ^h ta ^h pu	羊毛	ˈta gə ^h ju wa	あぶみ
ʔ	ˈʔa ɕō	箸	ˈʔu	あれ
ts ^h	ˈts ^h a	塩	ˈts ^h ə	犬
ts	ˈtsa	鶏	ˈtsə tsi:	親指
dz	ˈmbu tsa dza	ムカデ	ˈka dziʔ	いつ
tɕ ^h	ˈtɕ ^h a ^h dɯʔ	傘	ˈtɕ ^h ə bo	大きい
tɕ	ˈtɕa	茶	ˈtɕu mu	尼
dz	該当なし			

5.1.2. 摩擦音

Tshawarong 方言は歯茎、前部硬口蓋、軟口蓋の摩擦音に無声有気、無声無気、有声の3系列を有する。声門摩擦音は無声、有声の2系列が存在する。軟口蓋摩擦音/x^h, x, ɣ/、声門摩擦音/h, fi/、および/z/の単子音の例は比較的少ない。

	例語	語義	例語	語義
s ^h	ˈs ^h a	土	ˈs ^h ə s ^h ɛ:	黄色い
s	ˈsa ma	ごはん	ˈsi: pa	露
z	ˈɕuʔ pa ˈza ma	朝食	ˈtɕ ^h u zō	バケツ
ɕ ^h	ˈɕ ^h a	肉	ˈɕ ^h ə:	昇る
ɕ	ˈɕa ra	もの	ˈɕuʔ pa	午前

z	ˈzɔ: mō	軽い	ˈzi gi	本
x ^h	ˈx ^h aʔ	残される	ˈx ^h ū	靴
x	ˈxa ^h ɕe	鬼	ˈxiʔ ts ^h ɑʔ	注意深い
y	ˈts ^h a ɣa ˈpə kaʔ	隔てる	ˈma ɣaʔ ˈre:	腐る
h	ˈha ˈku	理解する	ˈhɛ ^h gu	家
fi	ˈfiō la ˈjuʔ	まだ	ˈ ⁿ di fiu	弾

5.1.3. 共鳴音

Tshawarong 方言の共鳴音は、/r, w, j/を除いて有声と無声の2系列が存在する。/r/ の実際の音価には代表的なものとして [r, z, ɹ] など複数あり、すべて自由変異である。

	例語	語義	例語	語義
m	ˈma mu	めす綿羊	ˈmə ^h tuʔ	花
m̥	ˈma k ^h a	夕方	ˈm̥ɛ	薬
n	ˈnaʔ pu	黒い	ˈna ^h bu	宝石
n̥	ˈn̥a	鼻	ˈn̥ō	存在する
ŋ	ˈŋa	魚	ˈŋə ma	太陽
ŋ̥	ˈŋ̥i	心臓	ˈŋ̥əʔ	終わる
ɲ	ˈɲa	私	ˈ ^h lə ɲə	竹笛
ɲ̥	ˈɲa ts ^h i	午後	ˈɲo ts ^h u	前
l	ˈla k ^h a	頂上	ˈlā ^h gu	手
l̥	ˈl̥a	神仏	ˈl̥ō	南
r	ˈra	山羊	ˈrə ^h bō	うさぎ
w	ˈwa	狐	ˈʔa wu	祖父
j	ˈjaʔ	する	ˈji: tɕ ^h ə	信じる

5.2. 子音連続

ここでは、Tshawarong 方言における子音連続を主子音 C_i に先行する要素によって分類して述べ、ついでわたり音 G を含むもの、3子音連続について述べる。

5.2.1. 前鼻音

前鼻音は、その後続子音が有声音か無声有気音かによって分けて例を挙げる。

有声音に先行する場合

- ^mb**: ^mbo: なくす
- ⁿd**: ⁿda wa 月 (年月)
- ⁿd̥**: ⁿd̥ɕ: 米
- ^ŋg**: ^ŋgo 頭
- ⁿdz**: ⁿdzi: bə 美しい
- ⁿdz̥**: ⁿdz̥a 虹

無声有気音に先行する場合

- ^mp^h: ˀ^mp^haʔ 跳ねる
ⁿt^h: ˀⁿt^hɛ 引く
^ŋt^h: ˀ^ŋt^hə^hpə 胆嚢
^ŋk^h: ˀ^ŋk^hɛ:pə 専門家
ⁿts^h: ˀⁿts^haʔ 掃く
^ŋtɕ^h: ˀ^ŋtɕ^huʔ mi バター灯

5.2.2. 前気音

前気音は、その有声性が後続子音と一致する。

- ^hp: ˀ^hpu 毛
^ht: ˀ^hto fia 腹
^ht: ˀ^htɕ 雲
^hk: ˀ^hkə lĩ 首
^hts: ˀ^htsa: k^hɕ トイレ
^htɕ: ˀ^htɕaʔ 鉄
^hs: ˀ^hsa: 金
^hɕ: ˀ^hɕɕ k^hu 狼
^ʰb: ˀ^ʰba ʰbaʔ 皮
^ʰd: ˀ^ʰdu 石
^ʰd: ˀ^ʰdə wu 仇
^ʰg: ˀ^ʰguʔ 鷹
^ʰdz: ˀ^ʰdzu ma 腸
^ʰdz: ˀ^ʰdza riʔ nə 漢族
^ʰz: ˀ^ʰzaʔ pu つるつるの
^ʰz: ˀ^ʰzə 四
^ʰm: ˀ^ʰma 傷口
^ʰn: ˀ^ʰna ʰdzũ 耳
^ʰŋ: ˀ^ʰŋi: tɕ^ho 涙
^ʰŋ: ˀ^ʰŋə^h mbə 狩人
^ʰl: ˀ^ʰlo fia 肺
^ʰj: ˀ^ʰjoʔ 乗る

5.2.3. わたり音を含むもの

少数ながら、わたり音には/w, j/が存在する。借用語の例もある。

- ^hw: ˀ^hwā 穴が開く
^kw: ˀ^kwō kwo 中国
^gw: ˀ^gdō gwa きゅうり
^tsw: ˀ^tswa 草
^ɕw: ˀ^ɕwa 帽子

xw : ˈxwa sē 落花生
 tʰj : ˈtʰjəʔ 叱る
 lj : ˈpā ljəʔ 板
 lj : ˈljəʔ 教える

5.2.4. 3子音連続

Tshawarong 方言でもっとも複雑な初頭子音の形式である。確認される例は少ない。

ˈɲw : ˈɲwə 釣る
 ˈtj : ˈtjəʔ ほとぼしる
 ˈdj : ˈdjā 結ぶ
 ˈlj : ˈljəʔ tsʰa 持っておく

6. 蔵文との対応関係による Tshawarong 方言の特徴づけ

チベット文語（蔵文）形式と口語形式の対応関係を探ることは、チベット語方言の特徴を分析する伝統的な手法である（西 (1986)、江荻 (2002)、張濟川 (2009) など参照）。ここでは、Tshawarong 方言の特徴を初頭子音と母音＋音節末形式および声調の3つに分けて述べる。また、Tshawarong 方言を特徴づける要素について、適宜他方言の事例との対比を注記する。なお、この考察の目標は通時的な議論を行うのではなく、方言の特徴づけを行うためのいくつかの指標に基づいた対応関係を提示することにある。

なお、蔵文は本節における蔵文形式は括弧に入れ、イタリックで示す。チベット文字の表す音価は格桑居冕・格桑央京 (2004: 379–390) を参照。

6.1. 初頭子音

Tshawarong 方言の初頭子音の形式は、蔵文と比べると単純である。先行研究で注目されるいくつかの対応関係に着目して述べる。

6.1.1. 閉鎖・破擦・摩擦音の有声性

閉鎖・破擦・摩擦音について、蔵文で基字に先行する子音がない有声音字 g, j, d, b, zh, z¹⁶ およびそれに足字 y, r を伴うものは、Tshawarong 方言の語頭においてそれぞれの調音点の無声音に対応する。同様の基字に頭字もしくは前接字がある場合は、一律に有声音に対応する。この対応関係は広くカムチベット語にみられる関係と同じである。以下に例を挙げる。

無声音例	ˈtsō 「壁」 (gyang)
ˈpa mu 「霜」 (ba mo)	ˈtsa 「鶏」 (bya)
ˈtcaʔ pə 「強盗」 (jag pa)	ˈcī ˈmbə 「農民」 (zhing pa)
ˈta rī 「今」 (da ring)	有声音例

¹⁶ 有声音字としては dz も含まれるが、dz ではじまる蔵文形式に対応する口語形式は得られていない。

ˆbi: pa 「蛙」 (<i>sbal ba</i>)	ˆdza: pa 「太った」 (<i>rgyag pa</i>)
ˆdzɔʔ pə 「重い」 (<i>ljid pa</i>)	ˆzũ 「学ぶ」 (<i>sbyang</i>)
ˆda: 「研ぐ」 (<i>rdar</i>)	ˆzə 「四」 (<i>bzhi</i>)

摩擦音について、蔵文で基字に先行する子音がない無声音字 *s, sh* には無声有気音が対応する。先行する子音があれば無声無気音が対応する。以下に例を挙げる。

ˆsh'a 「土」 (<i>sa</i>)	ˆhʕɛʔ 「語る」 (<i>bshad</i>)
ˆʕʰa 「肉」 (<i>sha</i>)	
ˆhsa: ˆba 「新しい」 (<i>gsar pa</i>)	

摩擦音の有聲音字 *z, zh* について、基字に先行する子音がない場合でも、語中にくる場合、有聲音が対応する。

ˆza 「曜日」 (<i>gza'</i>)	ˆzə ˆhʕɛu 「四十」 (<i>bzhi bcu</i>)
--------------------------	------------------------------------

ただし、規則的にそうなるとは言えない。以下に例を挙げる。

ˆsa ma 「ごはん」 (<i>za ma</i>)
ˆʕuʔ pa ˆza ma 「朝食」 (<i>zhogs pa za ma</i>)

6.1.2. 蔵文 *sh, zh* 対応形式

蔵文 *sh, zh* 対応形式は 6.1.1 に掲げた例にも示されているが、前部硬口蓋摩擦音になる¹⁷。以下に例を挙げる。

ˆʕʰa: 「東」 (<i>shar</i>)	ˆʕu: pa 「朝」 (<i>zhogs pa</i>)
ˆhʰa ˆʕʰi: 「吉祥」 (<i>bkra shis</i>)	ˆʕwa 「帽子」 (<i>zhwa</i>)

6.1.3. 蔵文 *c, ch, j* 対応形式

蔵文 *c, ch, j* 対応形式は 6.1.1 に掲げた例にも示されているが、前部硬口蓋破擦音になる。以下に例を挙げる。

ˆtʕʰə ra 「雨」 (<i>char pa</i>)	ˆdzɔʔ pə 「重い」 (<i>ljid pa</i>)
ˆtʕa 「茶」 (<i>ja</i>)	ˆdza 「虹」 (<i>'ja</i>)
ˆhʰtʕʰā 「踊る」 (<i>'cham</i>)	

6.1.4. 蔵文 *Py* 対応形式

蔵文 *Py* は、*p, ph, b* に足字 *y* を伴う形式を含む対応形式についていう。

Tshawarong 方言の蔵文 *Py* 対応形式は 6.1.1 に掲げた例にも示されているが、基本的に歯茎破擦音になる。以下に例を挙げる。

¹⁷ このように繰り返しておくのは、Suzuki et al. (2019) にもあるように、この蔵文対応形式がカムチベット語各種方言で異なりが大きいからである。

ʼtsa 「鶏」 (<i>bya</i>)	ˀ ^h tsʰaʔ 「掃く」 (<i>'phyag</i>)
ˀtsʰa kʰe 「半分」 (<i>phyad ka</i>)	ʼtsə ma 「砂」 (<i>bye ma</i>)

ただし、前部硬口蓋摩擦音で対応するものもある。以下に例をあげる。

ˀ ^h z̥ā 「学ぶ」 (<i>sbyang</i>)	ˀ ^h z̥a: kʰa 「夏」 (<i>dbyar kha</i>)
---	--

例外的なものに、前部硬口蓋破擦音が対応するものがある。たとえば、ʼt̥ɕa r̥o 「からす」 (*bya rog*) などである。

6.1.5. 藏文 Ky 対応形式

藏文 Ky は、k, kh, g に足字 y を伴う形式を含む対応形式についていう。

Tshawarong 方言の藏文 Ky 対応形式は、基本的に歯茎破擦音になる。以下に例を挙げる。

ˀtsʰə 「犬」 (<i>khyi</i>)	ˀ ^h dzəʔ 「撃つ」 (<i>rgyab</i>)
ˀ ⁿ da ^h tsi: 「中旬」 (<i>zla dkyil</i>)	ˀ ⁿ dzu: pu 「速い」 (<i>mgyogs pa</i>)
ˀ ⁿ tsʰaʔ 「寒い」 (<i>'khyags</i>)	

ただし、藏文 sky 対応形式には、前部硬口蓋摩擦音と歯茎破擦音の2種類がある。

前部硬口蓋摩擦音例	歯茎破擦音例
ˀ ^h ɕə: pə 「幸せな」 (<i>skyid po</i>)	ˀ ^h tsa ^h pə 「大便」 (<i>skyag pa</i>)
ˀ ^h ɕu: mū 「酸っぱい」 (<i>skyur mo</i>)	

例外的なものに、前部硬口蓋破擦音が対応するものがある。たとえば、ˀ^hdza riʔ nə 「漢族」 (*rgya rigs myi*) などである。

6.1.6. 藏文足字 r を含む組み合わせの対応形式

藏文足字 r を含む組み合わせには、Pr (=p, ph, b に足字 r を伴う形式を含む対応形式)、Kr (=k, kh, g に足字 r を伴う形式を含む対応形式)、Tr (=dr, 'dr)、sr などがあるが、藏文 sr 対応形式を除き、基本的にそり舌閉鎖音になる。以下に例を挙げる。

ʼt̥ə mō 「細い」 (<i>phra mo</i>)	ˀ ^h t̥a 「髪」 (<i>skra</i>)
ʼt̥aʔ 「がけ」 (<i>brag</i>)	ˀ ^h du 「行く」 (<i>'gro</i>)
ˀ ^h d̥uʔ 「龍」 (<i>'brug</i>)	ˀ ^h t̥ə 「尋ねる」 (<i>dri</i>)
ˀ ^h t̥aʔ 「血」 (<i>khrag</i>)	ˀ ^h t̥uʔ 「六」 (<i>drug</i>)
ʼt̥ō tsʰu 「村」 (<i>grong tsho</i>)	ˀ ^h xa ^h d̥e 「鬼」 (<i>sngag 'dre</i>)

一方、Tshawarong 方言における藏文 sr を含む形式の一般的な対応は前気音を伴う無声無気歯茎摩擦音である。以下に例を挙げる。

ʰsu? 「命」 (*srog*)

ʰsu: 「守る」 (*srung*)

6.1.7. 蔵文 l, lh 対応形式

Tshawarong 方言では、蔵文 l, lh は基本的にそれぞれ /l, l/ に対応する。以下に例を挙げる。

蔵文 l

lā ʰgu 「手」 (*lag mgo*)

lʰa? 「綿羊」 (*lug*)

蔵文 lh

lō 「南」 (*lho*)

lʰa 「神」 (*lha*)

ただし、蔵文 lh 対応形式が軟口蓋摩擦音となる場合もある。以下に例を挙げる。

xʰā 「靴」 (*lham*)

xʰa? 「残される」 (*lhag*)

蔵文の基字と足字 l の結合に関する対応形式は、蔵文 sl が /l/ に対応する以外は、基本的に /ʰl/ に対応する。以下にまとめて例を挙げる。

ʰlə fia 「月 (天体)」 (*zla ba*)

ʰla ma 「ラマ」 (*bla ma*)

ʰlo fia 「肺」 (*glo ba*)

ʰlū 「風」 (*rlung*)

ʰla? bə 「脳」 (*klad pa*)

ljo? 「教える」 (*slob*)

蔵文 zl 対応形式の例外として、ⁿda wa 「月 (年月)」 (*zla ba*) がある。

6.1.8. 蔵文基字 y 対応形式

Tshawarong 方言では、蔵文基字 y は基本的に /z/ に対応する。

zɔ: mō 「軽い」 (*yang mo*)

zɛ: la? 「右」 (*g.yas lag*)

zi gi 「本」 (*yi ge*)

zɛ: 「借りる」 (*g.yar*)

za? 「おすやく」 (*g.yag*)

ただし、蔵文単独基字 y の対応形式には、/j/ もある。以下に例を挙げる。

ji: tɕʰə 「信じる」 (*vid ches*)

ja sʰe? 「起きる」 (*yar sad*)

6.1.9. 前鼻音を含む子音連続

Tshawarong 方言の前鼻音を含む子音連続については、前鼻音要素に後続する子音に無声有気音と有声音の2種が認められる。前鼻音に対応する蔵文の前接字には ' と m の2種があるが、口語形式では鼻音部と後続子音は常に調音点を同じくする。以下に例を挙げる。

ᵐbu 「虫」 ('bu)	ᵐpʰaʔ 「跳ねる」 ('phag)
ᵐdza 「虹」 ('ja')	ᵐtʰē 「引く」 ('then)
ᵐdzā ᵐiᵐ 「世界」 ('dzam gling)	ᵐtsʰu 「放牧する」 ('tsho)
ᵐda 「弓矢」 (mda')	ᵐtʰō 「見える」 (mthong)
ᵐdzə ᵐdʰə 「指」 (mdzu ?)	ᵐkʰe: pə 「専門家」 (mkhas pa)
ᵐdiʔ 「正しい」 ('grig)	ᵐtʰə ᵐpə 「胆囊」 (mkhris pa)

6.2. 蔵文母音字＋後接字の組み合わせの対応形式

蔵文母音字＋後接字の組み合わせに関する基本的な対応関係は、以下のように示すことができる¹⁸。

V\C	#/'	b	d	g	m	n	ng	r	l	s
a	a/ə	əʔ	eʔ/εʔ	aʔ	ã/ã	ẽ	õ/ã	a:	e:/i:	ε:
i	ə		əʔ	iʔ		ĩ	ĩ		i:	i:
u	u/ʊ	əʔ/joʔ	uʔ	uʔ/ʊʔ	õ	ũ	ũ/õ		u:	ʊ:
e	i/jə	joʔ/jəʔ	iʔ	aʔ	ē		ē	a:/e:	i:/u:	e:
o	u	joʔ	uʔ/eʔ	oʔ/uʔ	ō	ō	ō	o:	u:	u:

以上のうち、蔵文の後接字 b, d, g を伴う形式に対応する口語形式は声門閉鎖音を伴い、後接字 m, n, ng を伴う形式に対応する口語形式には鼻母音が現れ、後接字 r, l, s を伴う形式に対応する口語形式には長母音が現れるというのが主たる対応関係である。

母音＋音節末形式の音対応は以上のようにまとめられるが、これは1つの主要な傾向を示すにとどまる。また、語中と語末で対応関係が異なる場合もあるが、詳細は省略する。以下に、語末に現れる具体例をあげる。

蔵文開音節形式 (#, ' の場合) の音対応例は、以下のようである。

ᵐkʰa 「口」 (kha)	ᵐsʰu 「誰」 (su)
ᵐda 「矢」 (mda')	ᵐmi 「火」 (me)
ᵐru: pə 「骨」 (rus pa)	ᵐsʰu: lʰə 「鋸」 (sog le)
ᵐrə 「山」 (ri)	ᵐᵐdu 「石」 (rdo)
ᵐtʰu 「水」 (chu)	

蔵文後接字が閉鎖音字 (b, d, g の場合) の音対応例は、以下のようである。

ᵐnoʔ 「西」 (nub)	ᵐpuʔ 「チベット」 (bod)
ᵐtjəʔ 「ノート」 (deb)	ᵐtʰaʔ 「血」 (khrag)
ᵐljoʔ 「教える」 (slob)	ᵐtʰciʔ 「一」 (gcig)
ᵐkʰεʔ 「声」 (skad)	ᵐdʰuʔ 「雷」 ('brug)
ᵐpʰe tsʰəʔ 「拭き消す」 (phar 'phyid)	ᵐsuʔ 「命」 (srog)

蔵文後接字が鼻音字 (m, n, ng の場合) の音対応例は、以下のようである。

¹⁸ 行見出しが蔵文形式の母音字、列見出しが蔵文形式の後接字、それ以外の部分がTshawarong方言の母音＋音節末形式である。また、本節内で#は後接字が存在しないことを示す。

ˈnā 「天」 (<i>gnam</i>)	ˈha jō 「銅」 (<i>ha yang</i>)
ˈsō 「三」 (<i>gsum</i>)	ˈñī 「心臓」 (<i>snying</i>)
ˈtō 「熊」 (<i>dom</i>)	ˈñō ñō 「少ない」 (<i>nyung nyung</i>)
ˈmē 「薬」 (<i>sman</i>)	ˈkʰa h̄tī 「屋根」 (<i>khang steng</i>)
ˈnō ñī 「あさって」 (<i>gnangs nyin</i>)	ˈh̄tō 「千」 (<i>stong</i>)
ˈdū 「七」 (<i>bdun</i>)	
kō 「身につける」 (<i>gon</i>)	

蔵文後接字がその他の子音字 (r, l, s の場合) の音対応例は、以下のようである。

ˈlu h̄sa: 「新年」 (<i>lo gsar</i>)	ˈñi: çhi: 「めがね」 (<i>dmyig shel</i>)
ˈsa: 「金 (きん)」 (<i>gser</i>)	ˈkʰu: 「沸く」 (<i>khöl</i>)
ˈkø: 「回る」 (<i>skor</i>)	ˈkɛ: 「階段」 (<i>skas</i>)
ˈdu ˈru ˈbɛ: 「亀」 (<i>rdo rus sbal</i>)	ˈñi: 「二」 (<i>gnyis</i>)
ˈda h̄tsi: 「中旬」 (<i>zla dkyil</i>)	ˈma: h̄ku: 「下げる」 (<i>mar skur</i>)
ˈsh̄a ˈgɹ: 「地が震える」 (<i>sa 'gul</i>)	ˈtɕʰu: 「経文」 (<i>chos</i>)

6.3. 声調

声調を有するチベット語方言の分析において、声調の歴史的発展は議論されるべき重要な問題である。ここでは通時的な議論で注目される蔵文との対応関係を基準に述べる。

Tshawarong 方言では、蔵文と声調の対応関係が比較的明瞭に現れるのは単音節語の事例に限られる。複音節語の声調パターンは、蔵文との対応のみで決定されるものではないようである。このため、以下に示すのは単音節語の事例のみとしておく。

Tshawarong 方言の声調体系は、語声調で語頭の音節初頭部が高いか低いかの異なりと音節末尾で下降するかしないかの2通りで構成され、計4種の弁別が行われる。チベット語の声調発生は音節初頭子音群の単純化と密接な関連がある。Tshawarong 方言の場合、音節初頭における声調の高さの蔵文との対応関係について、先に述べた母音と同様に簡潔に対応の傾向を述べると、以下のようになる。(無指定)とする点は、声調の現れと頭字/前接字の有無に関連性があまり見られないものである。

頭字/前接字	基字など	声調
(無指定)	無声無気閉鎖・破擦・摩擦音、無声有気閉鎖・破擦音	高
なし	有声閉鎖・破擦・摩擦音	低
あり	有声閉鎖・破擦・摩擦音	高・低
なし	共鳴音	低
あり	共鳴音	高
(無指定)	足字 1	高

以上のうち、頭字/前接字のある有声閉鎖・破擦音に対応する口語形式には、高・低両方の声調が現れる¹⁹。

¹⁹ これはカムチベット語 mBathang (巴塘) 方言や Derge (徳格) 方言でも報告がある。格桑居冕 (1985)、江荻 (2002: 264-265) など参照。

共鳴音の場合、原則的に頭字/前接字がなければ低はじまりの声調に、頭字/前接字があれば高はじまりの声調に対応する。

音節末における声調の下降の有無については、声調が高はじまりの場合で末子音字が閉鎖音のときは下降せず、それ以外は下降するという傾向がある。しかし、現段階では蔵文との対応関係で合理的な説明を与えることは困難である。

7. 形態論に関する注目点

Tshawarong 方言の形態論上の特徴として、動詞の接頭辞としての方向接辞²⁰が挙げられる。この方言には、いくつかの動詞語幹が常に特定の方向接辞とともに用いられるという特徴が見られる²¹。このため、語彙集においてはそのような動詞語幹について、できるかぎり出現可能な方向接辞とともに示しておくことが理想的である²²。本稿では、語彙記録の過程において、特定の方向接辞と動詞語幹の組み合わせを見出したものについては、その方向接辞を記載した。その概要を以下にまとめておく。

Tshawarong 方言の方向接辞には次のようなものがある。共起する動詞を添えて掲げる。

方向接辞	具体例
ja-	ʼja s ^h eʔ 「起きる」、ʼja mō 「増える」
ma-	ʼma puʔ 「下りる」
mɛ(:)-	ʼmɛ p ^h uʔ 「選び出す」、ʼmɛ: ^h mō 「飲みこむ」
mə-	ʼmə t̪ɛ̃ 「思い出す」
ts ^h e-	ʼts ^h e ^h q̪i: 「包む」、ʼts ^h e ^h t ^h ɛ̃ 「持ち出す」
ts ^h ə-	ʼts ^h ə ^h l̪ɔ̃ 「得る」
p ^h a-	ʼp ^h a k ^h ō 「移動させる」
p ^h e-	ʼp ^h e ts ^h əʔ 「拭き消す」、ʼp ^h e sə: 「言う」
p ^h ə-	ʼp ^h ə ru: 「指す」
pə-	ʼpə l̪jɛ̃ 「負う」
la-	ʼla ^h sɛ: 「灯す」、ʼla ^h q̪u 「入る」

以上のうち、ja-は「上」(yar)と関係があり、m-を含む形式は「下」(mar)と関係があると考えてよい。ts^h-を含む形式は「内」(tshur)と関係があり、p^h-を含む形式は「外」(phar)と関係があると言える。

pə-とla-については、蔵文に対応語を求めることは難しい。pə-は1つの例しか見つからないが、周辺の方言群には認められる。la-が現れる例は多く認められるが、周辺の方言群には認められない。

チベット系諸言語全般を見ると、動詞形態論における方向接辞という範疇を認めることはできるが、多くは4方向（「上」「下」「内」「外」）を認めるにとどまり、かつその表す意味が具体的な方向指示と関連する。Tshawarong 方言では、具体的な方向を

²⁰ 方向接辞とは、動詞に付加されて、方向を示すだけでなく言語によってはさまざまな意味機能を担う接辞である。チベット・ビルマ系では、羌語支（川西走廊諸語）の諸言語に多く認められる。詳細については、Post (2020) や Shirai (2020) を参照。

²¹ この特徴は察果県古拉郷で話される nGola 方言にも認められる。Tournadre & Suzuki (2021) を参照。

²² ただし、本稿の語彙リストにおいては、形態素分析を提示しない。

表すわけではないのにもかかわらず用いられる点に大きな異なりがある。また、南部カム地域の方言、たとえば甘孜州郷城県や得榮県の諸方言には、命令形を形成する接頭辞 *pə-* が方向接辞の位置に現れる例もある²³。一方 Tshawarong 方言では、方向接辞と命令形は関連しないようである。

Tshawarong 方言が方向接辞を発達させた背景には、ラモ語など方向接辞を文法的範疇で用いる近隣言語 (Tashi Nyima & Suzuki 2018, Suzuki et al. 2021) の影響も考えられるが、本稿では単に指摘するにとどめ、今後詳細な議論が必要であることのみ述べておく。

参考文献

- 貢布多加 [mGon-po sTobs-rgyal]. 2020. 〈康區察瓦龍歷史沿革及其地名稱謂考究〉. 《西藏研究》第 1 期. pp.18–29.
- 華侃 [Hua, Kan] 主編. 2002. 《藏語安多方言詞匯》. 蘭州: 甘肅民族出版社.
- 江荻 [Jiang, Di]. 2002. 《藏語語音史研究》. 北京: 民族出版社.
- 格桑居冕 [sKal-bzang 'Gyur-med]. 1985. 〈藏語巴塘話的語音分析〉. 《民族語文》第 2 期. pp.16–27.
- 格桑居冕・格桑央京 [sKal-bzang dByangs-can]. 2004. 《實用藏文文法教程 [修訂本]》. 成都: 四川民族出版社.
- Kitamura, Hajime. 1977. *Tibetan (Lhasa dialect)*. Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa.
- 小林尚礼. 2006. 『梅里雪山: 十七人の友を探して』. 東京: 山と溪谷社
- 劉潔 [Liu, Jie]. 2015. 《松古扎話的語音系統研究》. 中国傳媒大學碩士論文.
- 中村保. 2012. 『最後の辺境 チベットのアルプス』. 東京: 東京新聞出版局
- de Nebesky-Wojkowitz, René. 1956. *Oracles and demons of Tibet: The cult and iconography of the Tibetan protective deities*. 's-Gravenhage: Mouton.
- 西義郎. 1986. 「現代チベット語方言の分類」. 『国立民族学博物館研究報告』11 卷 4 号. pp.837–900 + 1 地図. doi: <http://doi.org/10.15021/00004359>
- Post, Mark W. 2020. “The distribution, reconstruction and varied fates of topographical deixis in Trans-Himalayan (Sino-Tibetan): Implications for the reconstruction of an early Trans-Himalayan environment”. *Diachronica* 37:3. pp.368–409. doi: <http://doi.org/10.1075/dia.19018.pos>
- Qin, Liying & Hiroyuki Suzuki. 2016. “Chasing a cat from the Mekong to the Salween: A geolinguistic description of ‘cat’ in Trung and Kham Tibetan in North-western Yunnan”. *Studies in Asian Geolinguistics* I. pp.61–71. https://publication.aa-ken.jp/sag1_sun_2016.pdf
- Roche, Gerald & Hiroyuki Suzuki. 2018. “Tibet’s minority languages: Diversity and endangerment”. *Modern Asian Studies* 52(4). pp.1227–1278. doi: <http://doi.org/10.1017/S0026749X1600072X>
- Shirai, Satoko. 2020. “A geolinguistic study of directional prefixes in the Qiangic language area”. *Himalayan Linguistics* 19(1). pp.365–392. doi: <http://doi.org/10.5070/H919142521>
- 宋成 [Song, Cheng]. 2019. 《西藏察隅松林語》. 北京: 民族出版社.
- 鈴木博之. 2005. 「チベット語音節構造の研究」. 『アジア・アフリカ言語文化研究』第 69 号. pp.1–23. 電子版: <http://hdl.handle.net/10108/20212>
- . 2012. 「カムチベット語 Sangdam 方言の音声分析とその方言特徴」. 『アジア・アフリカ言語文化研究』第 83 号. pp.37–58. 電子版: <http://hdl.handle.net/10108/69336>
- . 2014. 「カムチベット語丙中洛 [Bodgrong] 方言の音声分析」. 『アジア・アフリカの言語と言語学』第 9 号. pp.153–193. 電子版: <http://hdl.handle.net/10108/80349>
- Suzuki, Hiroyuki. 2016. “In defense of prepalatal non-fricative sounds and symbols: Towards the Tibetan dialectology”. *Researches in Asian Languages* 10. pp.99–125. <http://id.nii.ac.jp/1085/00002195/>
- . 2017. “Historical development of Bodgrong Tibetan (Gongshan, Yunnan): From a geolinguistic perspective”. *Studies in Asian Geolinguistics* VI. pp.43–55. https://publication.aa-ken.jp/sag6_count_2017.pdf

²³ 具体例は Tournadre & Suzuki (2021) を参照。

- Suzuki, Hiroyuki, Sonam Wangmo, & Tsering Samdrup. 2021. "Lamei, another dialect of Lamo (mDzogong, TAR): Vocabulary and sentence structure". In Yasuhiko Nagano & Takumi Ikeda (eds.) *Grammatical phenomena of Sino-Tibetan languages 4: Link languages and archetypes in Tibeto-Burman*. In press. Kyoto: Institute for Research in Humanities, Kyoto University.
- Suzuki, Hiroyuki, Tsering Samdrup, Niangwujia (Nyingbo-Gyal), Jixiancairang (Chaksham Tsering), & Sonam Wangmo. 2019. "/fj/ in Amdo Tibetan: Descriptive and historical approaches". *Journal of the Phonetic Society of Japan* 23. pp.76–82. doi: http://doi.org/10.24467/onseikenkyu.23.0_76
- Tashi Nyima & Hiroyuki Suzuki. 2019. "Newly recognised languages in Chamdo: Geography, culture, history, and language". *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 42.1. pp.38–82. doi: <http://doi.org/10.1075/lba.18004.nyi>
- Tournadre, Nicolas & Hiroyuki Suzuki. 2021. *The Tibetic languages: An introduction to the family of languages derived from Old Tibetan*. Paris: LACITO Publications (CNRS). (with the collaboration of Xavier Becker and Alain Brucelle for the cartography)
- Wylie, Turrell Verl. 1962. *The geography of Tibet according to the 'Dzam-gling-rgyas-bshad: Text and English translation*. Roma: Istituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente.
- 《西藏百科全書》總編輯委員會 [Xizang Baikequanshu Zongbianji Weiyuanhui] 編. 2005. 《西藏百科全書》. 拉薩：西藏人民出版社.
- 山口瑞鳳. 1983. 『吐蕃王国成立史研究』. 東京：岩波書店.
- 張濟川 [Zhang, Jichuan]. 2009. 《藏語詞族研究—古代藏族如何豐富發展他們的詞匯》. 北京：社會科學文獻出版社.
- 朱曉農 [Zhu, Xiaonong]. 2010. 《語音學》. 北京：商務印書館.
- 宗曉哲 [Zong, Xiaozhe], 劉潔 [Jie Liu], 李大勤 [Daqin Li]. 2017. 〈松古扎話的語音特點〉. 《語言研究》第4期. pp.113–119.

[付記]

筆者による現地調査については、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「チベット・ビルマ語族の繋聯言語の記述とその古態析出に関する国際共同調査研究」 (研究代表者：長野泰彦、課題番号 16H02722) および日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (A) 「チベット文化圏東部の未記述言語の解明と地理言語学的研究」 (研究代表者：鈴木博之、課題番号 17H04774) の援助を受けている。

分類語彙 1100

配列は華侃 主編 (2002) に準拠し²⁴、名詞 (天文地理、人体、人物、家畜、その他の動物、植物、食物、衣料装飾、住居、生活用具、その他道具、文化教育、抽象物、位置方角、時間)、数詞、代名詞、形容詞、動詞の順である。

天文地理

天	ʰnã	雪	ʰhə fia
太陽	ʰnə ma	雹	ʰhə rə
光	ʰwi: ze:	霜	ʰpa mu
月	ʰlə fia	露	ʰsi: pa
星	ʰka ʰma	霧	ʰlū ʰpə
天氣	ʰnã ʰcī	冰	ʰqʉ?
雲	ʰtʃ	火	ʰmi
雷	ʰqʉ?	煙	ʰtu lū
風	ʰlū	電氣	ʰlu?
雨	ʰtʃə ra	空氣	ʰtu lū / ʰlū
虹	ʰdza	蒸氣	ʰlū ʰbə

²⁴ ただし一部個別例について補足したものも含む。

旱魃	ʔh ⁱ h ^{pə}	牧区	ˀ ^u daʔ pə ˀ ^u duʔ / ˀ ^u do: s ^h a
水害	ʔtɕ ^h u lū	石	ʔ ^{fi} du
世界	ˀ ⁿ dzā ʔi	砂	ʔtsə ma
地	ʔs ^h a	埃	ʔt ^h u fia
山	ʔrə	泥	ˀ ⁿ dzə ʔi ^h ba
谷	ʔrə wū	水	ˀ ^u tɕ ^h u
がけ	ʔtaʔ / ʔta: rə	金	ʔs ^h a:
岩石	ʔtaʔ	銀	ʔ ^{fi} ŋū
洞窟	ʔtaʔ p ^h uʔ	銅	ˀ ^h a jō
洞穴	ˀ ^u p ^h uʔ	鉄	ˀ ^h tɕaʔ
川	ˀ ^u tɕ ^h u po	場所	ˀ ^h a tɕ ^h ə
湖	ˀ ⁿ ts ^h u	長江	ˀ ^u də tɕ ^h o
海	ˀ ^{fi} dza ˀ ⁿ ts ^h u	ラサ	ˀ ^l a s ^h ə
道	ʔljā	ポタラ宮	ʔpu te ts ^h ɛ
土	ʔs ^h a	村	ʔtō ts ^h u
水田	ʔtɕ ^h u zī	橋	ˀ ⁿ dzā ˀ ^m bə

人体

体	ʔlɯ h ^p u	足	ˀ ^h kā ˀ ^m bə
頭	ˀ ^u go	手	ʔlā ˀ ^u gu
髪	ʔh ^h ta	腕	ˀ ^h ts ^h iʔ
お下げ	ˀ ^h ta tɕəʔ	指	ˀ ⁿ dzə ˀ ^u də
額	ˀ ^u go k ^h a	手のひら	ʔa: ˀ ^h i:
眉毛	ʔmi: h ^p o	親指	ʔtsə tsi:
目	ˀ ^{fi} miʔ / ˀ ^{fi} niʔ	中指	ˀ ^h tsə ʔki ʔlā ˀ ^u gu
鼻	ˀ ⁿ a	爪	ʔs ^h e mu
鼻の穴	ˀ ⁿ a k ^h ō	拳	ˀ ^h ku t ^h uʔ
耳	ˀ ^{fi} na ʔdzū	あざ	ˀ ^m e wa
顔	ˀ ^h a nā	傷口	ˀ ^{fi} ma
ほほ	ˀ ^h a nā gə ʔk ^h ɛ	しみ	ˀ ^{fi} ma
口	ˀ ^h a	血	ʔt ^h aʔ
あごひげ	ˀ ^h a h ^p o	脳	ˀ ^{fi} laʔ bə
首	ˀ ^h kə lī	骨	ʔru: pə
肩	ʔt ^h aʔ pə	歯	ˀ ^h u
乳	ʔho ma	犬歯	ˀ ^h ts ^h ə ˀ ^h u
腹	ˀ ^h to fia	舌	ˀ ^h tɕə li
腰	ˀ ^h kəʔ pə	肺	ˀ ^{fi} lo fia
尻	ˀ ⁿ dzəʔ ʔdu	心臓	ˀ ^u ŋi
太もも	ˀ ^h kā ˀ ^m bə	胆嚢	ˀ ^u t ^h ə ʔpə
ひざ	ʔpa mū	胃	ˀ ^h u k ^h ə
下腿	ˀ ^h kā mə ʔtsə zā	腸	ˀ ^{fi} dzu ma

大便 ^{-h}tsa h pə
 小便 ^htɕo:
 屁 ^{-h}tsa h pə
 汗 ^{-h}tsa ^{fi}dʉ?
 痰 ^{-k}h a tɕ^ho
 鼻水 ⁻na tɕ^ho

涙 ^{-fi}ni: tɕ^ho
 声 ^hke?
 死体 ^ʼru
 命 ^hsu?

人物

人 ^ʼmə
 人民 [^]mi ^{fi}mā
 平民 ^ʼmi ri?
 チベット人 ^ʼpʉ? ri? nə
 漢族 ^{fi}dza ri? nə
 外国人 ⁻tɕ^{hi} ^{fi}dza mə
 大人 ^ʼni tɕ^ha bə
 子供 ^ʼʔa ɲō / ^ʼʔa nʉ ^ʼtɕ^hō tɕ^hō
 赤ん坊 ^hta nə ^ʼtsa za?
 老人 ^{fi}gɛ ^mbu
 老婦人 ^hgɛ mū
 男 ^ʼpu
 女 ^ʼpu mū
 男女 [^]pu da ^ʼpu mū
 少年 ^hpu ^hsa:
 少女 ^ʼpu mū
 専門家 ⁻ki^hɛ: pə
 商人 ⁻ts^hō pə
 医者 ⁻mɛ ^mbə
 農民 ^ʼci ^mbə
 軍人 ^{-fi}ma? mə
 牧民 ^ʼqo ^hpə
 牧人 ^ʼqo ^hpə
 大工 ^ʼɕ^hi ^{fi}zu
 鍛冶屋 ^htɕa? ^{fi}zu
 船大工 ^ʼtu ze [^]tā mə / ^ʼtu pə
 狩人 ^{-fi}ŋō ^mbə
 独身 ^ʼmə ^htɕi?
 学者 ^ʼzi gi ^hdzā mə
 翻訳家 ^{-h}ke? ^{fi}dzu:
 こじき ^{-fi}da mə ⁻lō mə
 泥棒 ^{-h}ku: mə
 強盗 ^ʼtɕa? pə

病人 ^ʼɲɛ? pə
 仇 ^hda wu
 友人 ^hɕ^ha p^hu
 教師 ^{fi}ge ^{fi}gɛ
 石屋 ^{-fi}du ^{fi}zu mə
 肉屋 ^{-h}ɕɛ ^hpə
 盲人 ^{-fi}ni? ^ʼmə ⁿt^hū
 聾啞者 ^{-fi}na ^{fi}dzʉ? ^ʼmə ⁿts^hə:
 禿げの人 ⁻gu ^{fi}lə?
 ばか者 ^{-fi}lā ^mba
 狂人 ⁻ŋō ma
 口の利けない人 ^{-k}h a tɕo ^{-h}ɕɛ? ^ʼmə ɕ^hɛ:
 祖父 ⁻ʔa wu
 祖母 ^ʼʔa zi
 父 ^ʼʔa ba
 母 ^ʼʔa ma
 両親 ^ʼʔa ba ^ʼʔa ma
 息子 ^ʼpu
 息子の嫁 ^hna ma
 娘 ^ʼpu mū
 娘婿 ^ʼpu mū ^ʼɲə ma
 孫息子 ^ʼʔa ɲō
 兄 ^ʼʔa bu
 姉 ^ʼʔa bu
 弟 ^ʼʔa ɲō
 妹 ^ʼmi mi
 父の兄 ^ʼʔa k^hw
 父の兄の妻 ^ʼʔa ni
 父の弟 ^ʼʔa k^hw
 父の弟の妻 ^ʼʔa ma
 甥 ^ʼpu tɕ^hō
 兄弟 ^ʼru ^hpə
 姉妹 ⁻mu ɲi

母の兄弟 ʔa zo
 母の兄弟の妻 ʔa ni
 親戚 ʔə wa
 夫 ʔi la ʔi

妻 ʔmə naʔ
 双子 ʔtsʰə ma
 孤児 ʔa ba ʔa ma ʔmiʔ mə

家畜

牛 ʔi ʔ
 ヤク ʔi zaʔ
 めすヤク ʔi dʔə
 皮 ʔi ba ʔi baʔ
 毛 ʔi pu
 尾 ʔi ga mə
 馬 ʔi ta
 子馬 ʔi ta ʔi dzuʔ
 おす馬 ʔi ta pʰu
 めす馬 ʔi ta mu
 羊 ʔi ra
 綿羊 ʔi luʔ
 めす綿羊 ʔi ma mu
 山羊 ʔi ra
 羊毛 ʔi luʔ gə ʔi ta ʰpu
 騾馬 ʔi tu:
 ロバ ʔi ku rə
 らくだ ʔi ʔja mō
 ぶた ʔi pʰaʔ

めすぶた ʔi mu pʰaʔ
 おすぶた ʔi pʰu pʰaʔ
 子ぶた ʔi pʰaʔ ʔi tuʔ
 ぶた糞 ʔi pʰaʔ gə ʔi tsʰa ʰpə
 犬 ʔi tsʰə
 めす犬 ʔi tsʰə mō
 猟犬 ʔi tʰə tsʰə
 犬糞 ʔi tsʰə gə ʔi tsʰa ʰpə
 猫 ʔi ʔa li:
 うさぎ ʔi rə ʔi bō
 鶏 ʔi tsa
 おんどり ʔi tsa pʰu
 めんどり ʔi tsa mō
 翼 ʔi daʔ mə
 羽 ʔi ta ʰpu
 鶏糞 ʔi tsa ʔi tsʰa ʰpə
 鴨 ʔi tʰə u za

その他の動物

虎 ʔi taʔ
 龍 ʔi dʔəʔ
 爪 ʔi sʰe mu
 猿 ʔi tu:
 象 ʔi ʔi tʰə ʔi tʰə
 野牛 ʔi dʔə
 熊/パンダ ʔi tō
 野ロバ ʔi tʰə ʔi tʰə ʔi ta
 土ねずみ ʔi tsu fia
 リス ʔi tʰə sʰi sʰi
 狼 ʔi tʰə ʔi kʰu
 狐 ʔi wa / ʔi wa mō

鳥 ʔi tsa tʰə
 鳥糞 ʔi tsa ʔi tsʰa ʰpə
 鷹 ʔi gəʔ
 ふくろう ʔi fuʔ pa
 からす ʔi tʰə rō
 鸚鵡 ʔi ʔa ni ʔi mə tsʰu
 亀 ʔi du ʔi ru ʔi bɛ:
 蛇 ʔi dʔə:
 蛙 ʔi bi: pa
 魚 ʔi ʔa
 虫 ʔi mbu
 蚤 ʔi tʰə iʔ

ハエ	ʰi d̥õ mi	アリ	ʰtõ mə
蜘蛛	ʰka: ra	アリ塚	ʰtõ tsʰõ
蜘蛛の糸	ʰka: ʰtʰaʔ	ミツバチ	ʰmbu t̥ũ
ムカデ	ʰmbu tsa dza	ばった	ʰtsʰa tsʰa
ミミズ	ʰtɕʰu ʰmbu		

植物

木	ʰtɕʰi pʰõ	米	ʰdɕɛ:
幹	ʰtɕʰi pʰõ ʰga: tʰe	種	ʰsʰa ʰbɛ
根	ʰtɕʰi ʰtʰaʔ	小麦	ʰɲɛ:
葉	ʰtɕʰi lɛ:	青稞 [裸麦の一種]	ʰɲɛ:
花	ʰmə ʰtʰuʔ	とうもろこし	ʰta ʰmbo:
桃	ʰkʰã mbu	大根	ʰla puʔ
梨	ʰku zõ	唐辛子	ʰda tɕɛ:
柿	ʰʔa ni ʰdɕɛ: pə	たまねぎ	ʰtsʰõ
ぶどう	ʰi gõ ʰdɕɛ	にんにく	ʰi guʔ pə
はすの花	ʰpɛ: ma ʰmə ʰtʰuʔ	きゅうり	ʰi dõ gwa
冬虫夏草	ʰmbu	落花生	ʰxwa sɛ
サトウキビ	ʰta: ʰi d̥õ	草	ʰtswa
胡桃	ʰtɕʰe: ʰi gõ	きのこ	ʰtɕʰə mõ
穀物	ʰlu tʰuʔ	ひまわり	ʰɲə ma ʰmə ʰtʰuʔ
食料	ʰdɕɛ: riʔ		

食物

ごはん	ʰsa ma	牛肉	ʰi l̥õ ɕʰa
粥	ʰdɕɛ: tʰuʔ	塩	ʰtsʰa
小麦粉	ʰtu ʰdzɛ:	砂糖	ʰtɕʰi: ʰka: ra
モモ [具入りの蒸しパン]	ʰɲe mõ	酢	ʰtsʰu
麺	ʰtɕʰɛ ʰmbə	卵	ʰi gõ fia
蒸しパン	ʰɲe mõ	酒	ʰʔa raʔ
朝食	ʰcuʔ pa ʰza ma	湯	ʰtɕʰu kʰɛ:
昼食	ʰɲa tsʰɛ ʰsa ma	茶	ʰtɕa
夕食	ʰɲa kʰa ʰsa ma	タバコ	ʰto fia
ミルクティー	ʰhõ ma	葉	ʰmɛ
肉	ʰtɕʰa		
ツァンパ [炒った裸麦の粉末]	ʰtsã ʰmbə		

衣料装飾

糸	ˈhkuʔ pə	靴下	ˈwa tsə
布	ˈra:	靴	ˈxhã
衣服	ˈnɔ: zẽ	櫛	ˈshu mɔ̃
チュバ [チベットの民族衣装]	ˈtʃhɔ bə	宝石	ˈna ʰbu
ボタン	ˈkɛ: ʰdu	イヤリング	ˈmbu riʔ
ズボン	ˈnã ˈmbu	指輪	ˈla ˈtʰiʔ
スカート	ˈnã ˈmbu ˈtʃhɔ bə	ブレスレット	ˈlã ʱgu ˈhta: sʰə
帽子	ˈɕwa		
ベルト	ˈlu:		

住居

枕	ˈnẽ ʱgu	丸太	ˈɕhĩ
布団	ˈhtã	板	ˈhpã ljoʔ
家	ˈhe ʰgu	柱	ˈkə wa
屋根	ˈkʰa ʰtĩ	門	ˈfi ɡu
キッチン	ˈsa ma ˈfi zu sʰə	玄関	ˈfi ɡu tʃhẽ
階層建築	ˈla kʰa kʰa ʰtĩ	窓	ˈka kʰõ
倉庫	ˈpa ŋa:	階段	ˈhkɛ:
牛小屋	ˈfi lɔ̃ ˈka: sʰə	梁	ˈfi dõ ˈmbə
ぶた小屋	ˈpʰaʔ ˈka: sʰə	ステップ	ˈfi dza ʰkɛ:
馬小屋	ˈhta ˈka: sʰə	テント	ˈkɛ: rə
羊小屋	ˈra ˈka: sʰə	牛毛テント	ˈnɔ̃ dʒə gə ˈkɛ: rə
レンガ	ˈsʰa pʰaʔ	トイレ	ˈhta: kʰõ
壁	ˈtsõ		

生活用具

もの	ˈɕa ra	鉄なべ	ˈlu ku
いす	ˈfi du: sʰə	ナイフ	ˈtʃə
ベッド	ˈnɔ: tʰə	柄杓	ˈkʰa ti
箱	ˈfi gã	木製椀	ˈɕhĩ ˈpʰə rə
石鹸	ˈji: tsə	ボウル	ˈpʰə rə
鏡	ˈɕhĩ: ʰgu	箸	ˈʔa ɕõ
明かり	ˈfi luʔ	バケツ	ˈtʃhɔ zõ
蠟燭	ˈla tʃu	針	ˈkʰəʔ bə
薪	ˈɕhĩ	はさみ	ˈpə ʰdu:
火打石	ˈmi ʰdu	傘	ˈtʃhɔ ʰduʔ
ごみ	ˈku ljoʔ	鍵	ˈfi de miʔ

車輪	ʔk ^h ə lu	めがね	ʰi: ɲi: ɕ ^h i:
棒	ʰta lɔʔ	船	ʔtu zī
鞍	ʰta h ^h tɕaʔ	飛行機	ʰna: tã
あぶみ	ʰta gə ʔju wa	自転車	ʰkã t ^h ɕ:
蹄鉄	ʰta ʰka m ^h ba		

その他道具

道具	ʔlɔʔ tɕ ^h a	弾	ʰdi fiu
斧	ʰta rə	弓	ʰda
金槌	ʔ ^h o wa	矢	ʰda
鋸	ʰs ^h u: lɲə	火薬	ʰmi ʰdzə
鋤	ʰtɕa: k ^h aʔ	毒	ʔtuʔ
ガソリン	ʰs ^h a ɲə	ノート	ʔtjəʔ
包丁	ʰta rə	キルト	ʰu kɛ
銃	ʰmə ʰda		

文化教育

文字	ʔji ge	ベル	ʰtɕ ^h u ts ^h eʔ
絵	ʰrə mō	竹笛	ʰlə ɲə
本	ʔzi gi	鈴	ʔtɕ: bu
紙	ʰtɕ ^h uʔ h ^h tō	ラッパ	ʔla ba
ペン	ʰkã pi	お面	ʰm ^h baʔ
学校	ʔlɔ: k ^h ɔ	神仏	ʔla
話	ʰkaʔ tɕ ^h ə	女神	ʔla mu
チベット語	ʔpuʔ h ^h kɛʔ	鬼	ʰxa ʰdɛ
チベット文語	ʔpiʔ ziʔ	女鬼	ʔpu mu ʰdɛ
名前	ʰmī	仏陀	ʰs ^h ã ʰdzɛ: / ʔla
姓	ʰmī riʔ	天堂	ʰna k ^h uʔ
新聞	ʰts ^h a: ʰpa:	輪廻	ʔk ^h o wa
物語	ʰna h ^h tã	運	ʔlja ʰdɔ
伝記	ʰna t ^h ɕ:	善行	ʔlja kə ʰzã m ^h bu
笑い話	ʰga zə ʔzi mo ʰkɛʔ	ラマ	ʰla ma
声	ʰkɛʔ	僧院長	ʔk ^h ɛ m ^h bu
歌	ʰci dɔ	僧侶	ʔta pa
民謡	ʰɲɛ: mu ʰci dɔ	尼	ʔtɕu mu
踊り	ʰci dɔ	閻魔	ʰɲɛ: k ^h a ʰtɕ ^h u: tɕ ^h u: ʰdzɛ: pə
さいころ	ʰtɕ ^h u	寺	ʰgō m ^h bə
太鼓	ʰɲa	経堂	ʔla k ^h ɔ
どら	ʔk ^h a ʰɲa	経院	ʔla k ^h ɔ gə ʰgō m ^h bə

バター灯 ʰtɕʰu? mi
 カタ [祝福の意を表すスカーフの一種]
 ˈkʰa da?
 いけにえの動物 ˈtsʰə tʰɛ: ʰtõ

お経 ˈtɕʰu:
 数珠 ʰtɕʰɛ ŋa
 金剛 ʰi do ʰi dze

抽象物

中国 ʰtõ kwo
 生活 ˈntʰu wa
 間違い ʰma re?
 危険 ʰne: tsʰi?
 区別 ˈkʰa kʰa
 吉祥 ʰtɕa ɕʰi:
 感謝 ʰtsʰa? tsʰi? sʰõ

色 ˈtsʰa ʰsə
 夢 ʰi mə lã
 考え ʰtɕʰɛ ˈna?
 力 ˈno?
 監獄 ʰtse: kʰõ

位置方角

東 ʰɕʰa:
 南 ʰlõ
 西 ʰno?
 北 ʰtɕã
 中間 ˈhtse: ʰki?
 そば ʰtso wa
 左 ʰtɕo: la?
 右 ʰi zɛ: la?
 前 ʰŋo tsʰu
 後 ʰtsa ʰgo
 外側 ˈtɕʰə lo?
 内側 ʰna lu?
 周り ʰtso wa

頂上 ʰla kʰa
 上側 ʰla kʰa
 下側 ʰla ʰtsa
 上 ʰla kʰa
 下 ʰla ʰtsa
 下の方 ʰla ʰtsa
 以上 ʰla tɕʰe?
 以下 ʰma tɕʰe?
 上へ ʰla kʰa la
 下へ ʰla ʰtsa mɛ?
 上半身 ʰlu ʰpu ʰla tɕʰe?
 下半身 ʰlu ʰpu ʰma tɕʰe?

時間

時間 ʰtu tsʰe?
 今日 ʰ?a rĩ
 昨日 ˈkʰa ʰtsa:
 おととい ʰŋu: la
 明日 ʰsʰo: zu
 あさって ˈʰnõ ʰĩ
 しあさって ʰsʰo: zu tɕi na
 今晚 ʰ?a rĩ ˈma kʰa

明日の晩 ʰsʰo: zu ˈma kʰa
 昨日の晩 ˈkʰa ʰtsa: ˈma kʰa
 昼間 ʰnə ma
 朝 ʰɕu: pa
 正午 ʰna tsʰe?
 夕方 ˈma kʰa
 夜中 ˈntʰɛ: rĩ
 真夜中 ˈntʰɛ: rĩ

ね [十二支；以下同]	ʼtsu wa
うし	ʼfiɿɿ
とら	ʼhʰtaʔ
う	ʼrə ʰbõ
たつ	ʼnɰuʔ
み	ʼfiɰu:
うま	ʼhʰta
ひつじ	ʼluʔ
さる	ʼhʰtʷ:
とり	ʼtʃa
いぬ	ʼtʃʰə
ぶた	ʼpʰaʔ
日	ʼtsʰe:
1日	ʼtsʰe: ʼhʰtʃiʔ
2日	ʼtsʰe: ʼfiɿi:
月	ʼnda wa
午前	ʼtʃuʔ pa
午後	ʼŋa tsʰi
1月	ʼnda wa ʼtā mba
2月	ʼnda wa ʼfiɿi: pa
12月	ʼnda wa ʼhʰtʃū ʰfiɿi:
中旬	ʼnda ʰtsi:

下旬	ʼnda ʰgʷuʔ
年	ʼlu
年齢	ʼlu ʰdzɛ:
最近	ʼʔa re ʼhʰka ʰbɛ:
今年	ʼʔa lɛ:
去年	ʼta ɿi:
来年	ʼsʰɿ nõ
再来年	ʼtʃʰə naʔ lɛ:
以前	ʼfiɿna ʼŋa mõ
今	ʼta ri
未来	ʼsʰo: ʒu ʼtʃʰə naʔ
はじめ	ʼʔa nə ʼpʰa ʰdzɛ:
月曜日	ʼfiɿza ʼnda wa
火曜日	ʼfiɿza ʼmiʔ ma:
春	ʼhʰtʃi: ka
夏	ʼfiɿza: kʰa
秋	ʼhʰtū kʰa
冬	ʼfiɿgū kʰa
新年	ʼlu ʰsa:
日食	ʼna ʰdzī
月食	ʼnda ʰdzī

数字

一	ʼhʰtʃiʔ
二	ʼfiɿi:
三	ʼhʰsõ
四	ʼfiɿzə
五	ʼfiɿŋa
六	ʼtʷuʔ
七	ʼfiɿdū
八	ʼfiɿdzeʔ
九	ʼfiɿgʷu
十	ʼhʰtʃu
十一	ʼhʰtʃi ʰtʃiʔ
十二	ʼhʰtʃū ʰfiɿi:
十三	ʼhʰtʃa ʰsõ
十四	ʼhʰtʃu ʰfiɿzə
十五	ʼhʰtʃa ʰfiɿŋa
十六	ʼhʰtʃə ɰuʔ
十七	ʼhʰtʃu ʰdõ

十八	ʼhʰtʃo ʰdzeʔ
十九	ʼhʰtʃu ʰgʷu
二十	ʼnə ɰʰu
二十一	ʼnə ɰʰu ʼhʰtsa: ʰtʃiʔ
二十八	ʼnə ɰʰu ʼhʰtsa: ʰdzeʔ
三十	ʼsʰū dʒu
三十二	ʼsʰū ʼsʰo: ʰfiɿi:
三十八	ʼsʰū ʼsʰo: ʰdzeʔ
四十	ʼfiɿzə ʰtʃu
四十三	ʼfiɿzə ʰtʃu ʼtʃi: ʰsõ
五十	ʼfiɿŋa ʰtʃu
五十四	ʼfiɿŋa ʰtʃu ʼŋa: ʰfiɿzə
六十	ʼtʷu: tʃu
六十五	ʼtʷu: tʃu ʼre: ʰfiɿŋa
七十	ʼfiɿdū dʒu
七十六	ʼfiɿdū ʼtə: ɰuʔ
八十	ʼfiɿdza ʰtʃu

八十七	- ^{fi} dza h ^t ɕu ^{fi} dza: ^{fi} dū	万	- ^t hə
九十	- ^{fi} gu h ^t ɕo	十万	^m bu: ta
九十八	- ^{fi} gu h ^t ɕo ^{fi} gu: ^{fi} dze?	百万	- ^t hə ^{fi} dza
九十九	- ^{fi} gu h ^t ɕo ^{fi} gu: ^{fi} gu	千万	- ^s hə jə
百	- ^{fi} dza	一億	- ^ŋ a tɕ ^h u:
百一	- ^{fi} dza - ^h tɕi ^ʼ mi? ^h tɕi?	半分	- ^t shə k ^h e
百八	- ^{fi} dza da - ^h tɕi ^ʼ mi? - ^{fi} dze?	第1	^ʼ tā ^m bu
八百八十	- ^{fi} dze? ^{fi} dza - ^{fi} dza h ^t ɕu	第2	- ^{fi} ŋe ^{fi} bə
千	- ^h tō		

数量詞

1人	^ʼ mə - ^h tɕi?	1夜	- ⁿ ts ^h ɛ̃ - ^h tɕi?
1碗	^ʼ p ^h ə rə - ^h tɕi?	1か月	ⁿ da wa - ^h tɕi?
1ページ	^ʼ ɕ ^h u la - ^h tɕi?	1年	^ʼ lu - ^h tɕi?
1本の草	- ^h kā ^m bə - ^h tɕi? gə - ^h tswa	1歳	^ʼ lu - ^h tɕi?
1口の食事	^ʼ sa t ^h u? - ^h tɕi?	一生	^ʼ ŋi ts ^h i - ^h tɕi?
1つの部屋	^ʼ he ^{fi} gu - ^h tɕi?	1歩	- ^h ka mə ^ʼ kō
1瓶の酒	- ^ʼ a ra? - ^h tɕi?	1度	^ʼ kə: - ^h tɕi?
1斤	^ʼ tɕɛ̃ ^ʼ kō	1声あげる	- ^h tɕō ^ʼ kə: - ^h tɕi? - ^h tō
1斗	^ʼ tɕi	1回打つ	^ʼ kə: - ^h tɕi? ^ʼ fi dō
1元	^ʼ ta jɛ̃ - ^h tɕi?	1嘸みする	- ^s h ^u s ^h u ^ʼ kə: - ^h tɕi? - ^h ta?
1角	^ʼ mo: tsə - ^h tɕi?	毎日	^ʼ ŋə ma ^ʼ ta bə re? ɕə
1分	- ^h ka: ma - ^h tɕi?	それぞれ	^ʼ ri
1畝	- ^h k ^h u: - ^h tɕi?	1倍	^ʼ kə: ^ʼ fi ŋi:
少しの間	- ^ʼ a tə - ^h tɕi? na	毎晩	- ^m a k ^h a ^ʼ ta bə re? ɕə
1日	^ʼ ŋə ma - ^h tɕi?		

代名詞

私	^ʼ ŋa	皆	- ^t sh ⁵ mə
私たち2人	^ʼ ŋa ^{fi} ŋi:	自分	^ʼ rō
私たち	^ʼ ŋa ts ^h u	他の人	- ^{fi} ŋə
あなた	^ʼ ɕ ^h a?	これ	- ^ʼ a də
あなたたち2人	^ʼ ɕ ^h i ŋi ^{fi} ŋi:	これら	- ^ʼ a ts ^h u
あなたたち	^ʼ ɕ ^h i? tɕa ^ʼ tā ⁿ dze	ここ	- ^ʼ a ^{fi} dɛ:
彼(彼女)	- ^h k ^h u	この辺	- ⁿ də ^ʼ p ^h a r ^u :
彼ら2人	^ʼ k ^h u ŋi ^{fi} ŋi:	この2つ	- ^ʼ a də - ^t sh ^a k ^h a p ^h ə k ^h a
彼ら	^ʼ k ^h u tɕo ^ʼ tā ⁿ dze	このような	- ^ʼ a za
我々	^ʼ a k ^u ^ʼ tā ⁿ dze	あれ(近)	- ^ʼ u
我々2人	^ʼ a k ^u ^{fi} ŋi:	あれら	- ^ʼ u ts ^h u

あそこ	ʔu ˈpʰa ru:	どれくらい	ˈka dziʔ
あの辺	ˈji: ˈpʰa ru:	いくつ	ˈka tsʰiʔ
あのよう	ˈʔa za	そのほか	ˈkʰa kʰa
誰	ˈsʰu	おのおの	ˈsʰu sʰu
誰ら	ˈsʰu	一切	ˈtsʰõ mə
何	ˈka za	すべて	ˈtsʰõ mə
どこ	ˈkɛ:	今回	ˈʔa rə ˈkø:
いつ	ˈka dziʔ		
どのように	ˈka ˈɬa rə		

形容詞

大きい	ˈtɕʰə bo	真っ黒の	ˈnaʔ ˈtʰõ tʰõ
小さい	ˈtsa za	白い	ˈhka ˈbu
太い	ˈbõ ˈmbo	赤い	ˈma ˈbə
細い	ˈtʰə mō	真っ赤の	ˈma ˈmē / ˈma ˈtɕʰu tɕʰu
高い	ˈtɕʰə bo	黄色い	ˈsʰə sʰe:
低い	ˈmɛ: ˈtsa za	真っ黄色の	ˈsʰe: ˈpo ˈpo
凸の	ˈsʰa tʰuʔ	緑の	ˈŋõ sʰē
凹の	ˈmē ˈdzu ˈza mo	青い	ˈŋõ ˈmbu
でこぼこの	ˈdzu ˈza mo ˈla po ˈza mo	真っ青の	ˈŋõ ɕə ɕə
ˈma ˈɬa		灰色の	ˈtʰə kʰɛ:
長い	ˈrē ˈmbu	明るい	ˈsʰe: ˈbə
短い	ˈtʰõ tʰū	まぶしい	ˈsʰe: tʰõ tʰõ
遠い	ˈtʰaʔ rē	暗い	ˈnaʔ pu
近い	ˈtʰaʔ ˈnī	重い	ˈdzɔʔ pə
中間の	ˈtsaʔ ki ˈka ba	軽い	ˈzɔ: mō
幅広い	ˈtɕʰə bo	速い	ˈdzu: pu
狭い	ˈtɕʰõ tɕʰõ	ゆっくりの	ˈka lē
狭窄の	ˈne tsʰa ˈtɕʰõ tɕʰõ	早い	ˈŋõ / ˈŋa mō
深い	ˈne tsʰa ˈma ˈza	遅い	ˈka lē
浅い	ˈtʰaʔ ˈnī pə la	澄んだ	ˈŋjē mu
満ちた	ˈmō	濁った	ˈnaʔ pu
空の	ˈtõ ˈmba	太った	ˈdza: pa
多い	ˈmō ˈmbə	肥えた	ˈdza: pa
少ない	ˈnõ ˈnõ	やせた	ˈçʰa ˈkã tʃē
丸い	ˈgwe ˈgwe	乾いた	ˈhka ˈmbu
尖った	ˈtsə: pə	湿った	ˈçə ˈbə
はげた	ˈgu ˈləʔ	軟らかい	ˈŋa mū
水平の	ˈnã mū	粘つく	ˈdze: ˈzə: mū
歪んだ	ˈta ˈtɕʰu ˈja mə	つるつるの	ˈzaʔ pu
黒い	ˈnaʔ pu	乱れた	ˈdza ma ɕə ˈkɛʔ tsʰõ

めちやくちゃの ^{-h}tsa la ʼcō
 正しい ^ʰdjiʔ
 誤った ʼma reʔ
 真の ʼŋo ma
 にせの ^ʰdza: ma
 生の ^ʰdzaə ^ʰba
 新しい ^{-h}sa: ^ʰba
 古い ^{-ʰ}ŋi ^mba
 よい ^{-ʰ}zā ^mbə
 悪い ʼma gɔʔ
 弱い ʼma gɔʔ
 (値が) 高い ʼkō ⁻tɕʰə bu
 安い ʼkō ʼtsa za
 育ちすぎの ^ʰgē ^mbə
 年老いた ^{-ʰ}gū ^mbə
 若い ʼlu ⁻tɕʰō tɕʰō
 美しい ^ʰdzi: bə
 醜い ʼma ⁿdzi:
 熱い ⁻tsʰa
 寒い ^ʰtsʰaʔ
 暖かい ^{-ʰ}ɕa mū
 温暖な ^{-h}tā mu ⁻tɕʰə bu
 涼しい ^{-h}se: bu
 難しい ^ʰka mū
 簡単な ⁻la mū
 芳しい ⁻cū ^mbo
 くさい ʼtə pu / ʼma gɔʔ / ʼŋē ^mbə
 酸っぱい ^ʰcu: mū
 甘い ^ʰŋē mū
 にかい ʼkʰa: mū
 辛い ʼtʰa tsʰeʔ
 塩辛い ⁻tsʰa ʼkʰa:

淡泊な ⁻tsʰa ʼma ʔoʔ
 忙しい ^ʰka la ⁻tɕʰə bu
 裕福な ^{-ʰ}dzu ^ʰmō
 貧しい ʼma ^htsa
 清潔な ^{-h}tsa: mō
 汚い ^{-h}ta ^{-h}tsu: pə
 生きている ^ʰduʔ ^ʰde mō
 新鮮な ^{-h}sa: ^ʰba
 死んだ ⁻ɕə ʼzā ^mbə
 明確な ^{-h}se: mū
 おいしい ⁻cū ^mbu
 聞きよい ⁻ŋē mu
 見よい ^ʰdze: bu ^ŋō
 つらい ^ʰka le: ⁻ŋkʰā
 賢い ^ʰgu: pə
 愚かな ^{-ʰ}lā ^mba
 正直な ʼŋa: tɕʰō
 ずる賢い ^ʰgu: pə
 和やかな ʼta: taʔ
 厳しい ʼŋɛ: tsʰaʔ
 遠慮深い ^{-ʰ}dzā ^mbə
 けちな ^ʰɕə ʼtɕʰō tɕʰō
 まじめな ⁻tsʰə ^ʰlja mō
 怠惰な ʼlja ʼma lō
 行儀のよい ʼŋā ^ʰtɕʰō ^mbə
 がんばった ʼŋa ^ʰdza:
 かわいそうな ^ʰdi: pə ʼkoʔ lə
 うれしい ^ʰga
 幸せな ^{-h}ɕə: pə
 平和な ^ʰde mō
 悲しい ^ʰsā ʼma ɕʰu

動詞

愛する ^ʰga
 好きだ ^ʰga
 淹れる ^{-h}kə:
 抜く ⁻tsʰəʔ
 壊して開ける ʼtɛ: ⁻kʰa kʰa ^ʰzu
 振る ⁻tsʰe ^ʰpʰe ^ʰjuʔ
 負ける ⁻tʰaʔ

拝む ⁻tsʰaʔ ^ʰtsʰɛ:
 引越す ^ʰpu:
 移動させる ⁻pʰa kʰō
 助ける ʼru: wa
 結ぶ ^ʰdjā
 包む ⁻tsʰe ^ʰdji:
 秘密を守る ⁻hsu:

満腹になる	ʰᵛd̥	導く	ʰt̥həʔ
暗唱する	ʰiᵛlɔ̃ ʰn̥d̥	かぶる	ʰiᵛzə
背負う	ʰmba	身につける	ʰk̥
比べる	ʰtsʰeʔ	着く	ʰpɔʔ tʰē
閉ざす	ʰtsō	得る	ʰtsʰə ʰiᵛl̥
病気である	ʰna	待つ	ʰiᵛguʔ
繕う	ʰt̥uʔ	地が震える	ʰsʰa ʰgu: / ʰsʰa ʰju: ʰdzɔʔ
拭き消す	ʰpʰe tsʰəʔ	頭を下げる	ʰiᵛgu ʰma: ʰku:ʔ
答えを当てる	ʰt̥	うなづく	ʰiᵛgu ʰdzɔʔ
縫い目を解く	ʰpʰe ʰma kuʔ ʰiᵛzu	点火する	ʰmi ʰpə
破壊する	ʰpʰe ʰt̥ɕa:	燃える	ʰmbɛ:
味わう	ʰŋe:	灯す	ʰla ʰsɛ:
弁償する	ʰd̥ɛʔ	吊るす	ʰiᵛmɛ: pʰoʔ ʰlā
歌う	ʰiᵛnō ʰla	釣る	ʰiᵛŋwō
口げんかする	ʰkʰa tsʰaʔ ʰiᵛgwəʔ	転ぶ	ʰt̥həʔ: pʰoʔ
食べる	ʰsa	捨てる	ʰmbɔ:
持ち出す	ʰtsʰe ʰtʰē	理解する	ʰha ʰku
タバコを吸う	ʰto wa ʰn̥tʰē	飢える	ʰhtuʔ
鞭打つ	ʰd̥	押しつける	ʰmɛ: ʰdzaʔ
出る	ʰiᵛdzə ʰiᵛgo ʰsʰō	起こる	ʰma rī
取り出す	ʰtsʰe ʰl̥jō	誓う	ʰiᵛna ʰci:
日が昇る	ʰnə ma ʰt̥həʔ:	身震いする	ʰnde:
出てくる	ʰtsʰe hō	発酵する	ʰŋɛ:
着る	ʰk̥	熱がある	ʰtsʰo wa ʰsʰtu
履く	ʰk̥	心配する	ʰsā ʰma ʰt̥ɕu
穴に通す	ʰt̥hē	発芽する	ʰla ʰmbɛ:
(柔らかいものに) 穴が開く	ʰt̥həwā	罰する	ʰt̥həʔ ba ʰmbu
吹く	ʰbɔʔ	体の向きを変える	ʰlu ʰpu ʰtsʰe ʰiᵛzuʔ
間違う	ʰma reʔ	反対する	ʰma reʔ
(要請に) 答える	ʰkʰa l̥ ʰjuʔ	翻訳する	ʰhkeʔ ʰiᵛdzɔʔ
ぶつ	ʰd̥	放牧する	ʰn̥tsʰu
狩をする	ʰiᵛŋō mu ʰᵛdu	火をつける	ʰmi ʰhtsu
撃つ	ʰiᵛdzəʔ	飛ぶ	ʰiᵛdī
当てる	ʰtsʰə ʰkʰe: ʰpʰoʔ	分かち合う	ʰkʰa kʰa
(殴り合いの) けんかする	ʰndze: reʔ ʰjaʔ	分家する	ʰkʰa kʰa
分ける	ʰkʰa kʰa ʰᵛdu	分離する	ʰkʰa kʰa
倒す	ʰiᵛgə:	分かれさせる	ʰkʰa kʰa ʰt̥hē
居眠りする	ʰiᵛnɔʔ ʰt̥u	狂う	ʰŋō
あくびする	ʰiᵛlɔ̃ mu ʰhtɔ:	縫う	ʰt̥uʔ
(包みを) 開ける	ʰla tsʰi	腐る	ʰma ʰɣaʔ ʰre:
雷が鳴る	ʰᵛduʔ ʰtaʔ	乾く	ʰhkā ʰma ʰiᵛzō
戦争に行く	ʰiᵛmaʔ ʰiᵛdzɔʔ	働く	ʰle: kə ʰle:
世話をする	ʰt̥həʔ	風邪を引く	ʰt̥həwā ʰmbə ʰna

あえてする	ˈpʰoʔ	実がなる	ˈhku zɯ: ˈh-taʔ
言う	ˈpʰe sə:	結婚する	ˈtɕʰã sə ˈfi zu
告訴する	ˈhka lɲə ˈlɲu	ほどく	ˈpʰə ˈh-tu:
切断する	ˈh-tuʔ	お金を借りる	ˈfi ɲũ ˈfi zɛ:
切ってしまう	ˈh-tuʔ tʰə	ものを借りる	ˈla tɕʰə ˈfi zã
刈る	ˈfi ɲa	入る	ˈla ˈɲdu
隔てる	ˈtsʰa ɲa ˈpə kaʔ	救う	ˈla ˈtʰɛ
与える	ˈh-taʔ	住む	ˈn-duʔ
耕す	ˈfi mũ	邪魔する	ˈtsʰa kə ˈɲgaʔ
つるす	ˈlɛ	開ける	ˈtsʰi
いっばいである	ˈtsʰõ	沸く	ˈkʰu:
関心を持つ	ˈh-sã nɛ: ˈriʔ	開く	ˈsʰɛʔ
閉める	ˈma ˈfi dzəʔ	運転する	ˈh-tõ
囲い込む	ˈla kaʔ	始める	ˈn-do ˈpʰə ˈn-dze: / ˈɲgu ˈtsuʔ
管理する	ˈh-tɕe: ˈmu fia	切り倒す	ˈh-tuʔ
年越しする	ˈlu ˈh-sa: ˈh-tõ	切る	ˈh-tuʔ
渡る	ˈpʰe ˈɲdu	見る	ˈh-ta
怖がる	ˈh-taʔ	見える	ˈn-tʰõ
呼ぶ	ˈh-kɛʔ ˈh-tõ	医者に見せる	ˈɲɛʔ pə ˈfi duʔ
飲む	ˈn-tʰũ	ぬかずく	ˈɲgu ˈn-tʰu:
交換する	ˈfi dzɯ:	咳をする	ˈtɕʰa ˈmbə ˈna
帰る	ˈluʔ	渴く	ˈh-kõ
記憶している	ˈmə tɕɛ	刻む	ˈh-kaʔ
(問いに) 答える	ˈpʰɛ ˈh-kɛʔ ˈfi zu	泣く	ˈɲu
支える	ˈla ˈhu	眠たい	ˈh-ka
選び出す	ˈmɛ pʰuʔ	引く	ˈn-tʰɛ
はさみで切る	ˈh-tuʔ	排泄する	ˈh-tsa ˈpə ˈh-tõ
語る	ˈh-ɕɛʔ	(口に) 辛い	ˈkʰa ˈtsʰɛ ˈmbə
落ちる	ˈmbəʔ	漏れる	ˈmɛ ˈpuʔ
(互いに) 交換する	ˈtsʰe pʰe ˈfi dzɯ:	来る	ˈɕʰuʔ
交わる	ˈfi dɔ:	年をとる	ˈfi gɛ
教える	ˈlɲoʔ	疲れる	ˈh-ka
鳥が鳴く	ˈtsa ˈh-kɛʔ ˈfi dzəʔ	量る	ˈtsʰeʔ
猫が鳴く	ˈʔa li: ˈh-kɛʔ ˈfi dzəʔ	おしゃべりする	ˈh-kaʔ ˈtə ˈciʔ
ロバが鳴く	ˈkə rə ˈh-kɛʔ ˈfi dzəʔ	裂く	ˈpu:
馬が鳴く	ˈh-ta ˈh-kɛʔ ˈfi dzəʔ	流れる	ˈlɲu / ˈmɛ ˈpuʔ
牛が鳴く	ˈfi ɲõ ˈh-kɛʔ	とっておく	ˈfi dɔ wa
犬がほえる	ˈtsʰə ˈh-kɛʔ	耳が聞こえない	ˈfi na ˈfi dzɯʔ ˈma ˈn-tʰa:
ぶたが鳴く	ˈpʰaʔ ˈh-kɛʔ	日が沈む	ˈɲə ma ˈmɛ: ˈnoʔ
羊が鳴く	ˈra ˈh-kɛʔ	しびれる	ˈtɕe:
トラがほえる	ˈh-taʔ ˈh-kɛʔ ˈfi dzəʔ	叱る	ˈtʰjəʔ
狼がほえる	ˈh-ɕõ kʰu ˈh-kɛʔ	買う	ˈɲũ
呼ばれる	ˈmbi:	売る	ˈh-tõ

満ちる	ʼkō	上がる	ʼla kʰa lə ʼᵛdu
ない	ʼᵛə ᵛō	射る	ʼᵛdzəʔ
燃え尽きる	ʼmɛ: h̄tā / ʼmɛ: ɕʰə	射止める	ʼpʰoʔ
触れる	ʼraʔ	伸ばす	ʼᵛdzō
研ぐ	ʼᵛda:	伸びる	ʼrē m̄bu ʼᵛdzō
粉をひく	ʼpʰe h̄tuʔ	成長する	ʼh̄ɕe
つかむ	ʼlē	腹を立てる	ʼtsʰe h̄pu ʼh̄tə
持っておく	ʼᵛljo: tsʰa	残される	ʼxʰaʔ
嘔吐する	ʼh̄ɕuʔ	昇る	ʼɕʰə:
這う	ʼᵛdzaʔ	なくす	ʼma: pʰoʔ
這って歩く	ʼᵛdzaʔ	である	ʼreʔ
山に登る	ʼrə ʼᵛdzaʔ	閉じる	ʼtsʰe ɕʰu
木に登る	ʼɕʰi pʰō ʼᵛdzaʔ	眠る	ʼᵛᵛəʔ
叩いて音を出す	ʼᵛdō	寝つく	ʼᵛᵛəʔ tu
整列する	ʼpʰə ʼᵛdjiʔ	話す	ʼh̄ɕeʔ
派遣する	ʼᵛə lə ʼh̄tō	死ぬ	ʼɕʰə
走る	ʼᵛdzəʔ	計算する	ʼri:
茶を入れる	ʼtɕa ʼᵛbō	頭痛がする	ʼᵛgu ʼkʰuʔ ʼraʔ
ほとぼしる	ʼh̄tjəʔ	蹴る	ʼᵛda h̄tuʔ ʼᵛdzəʔ
破れる	ʼma kaʔ	剃る	ʼtə
傷つく	ʼma kaʔ	曇りである	ʼᵛna: m̄ü / ʼᵛna: ʼh̄tō ʼmō bu ʼruʔ
壊れる	ʼma kaʔ	晴れる	ʼh̄tō ʼtə la ʼmiʔ
壊す	ʼma kaʔ ʼᵛzu	夜が明ける	ʼna: ʰsa:
手荒く扱う	ʼma kaʔ ʼjaʔ	暗くなる	ʼmō ᵛəʔ
だます	ʼᵛdza: ʼra:	踊る	ʼɕʰa ʼᵛdu ʼᵛtɕʰā
乗る	ʼᵛzu / ʼᵛjəʔ	跳ねる	ʼm̄pʰəʔ
起きる	ʼja sʰeʔ	貼る	ʼᵛlā
負う	ʼpə ljē	聞く	ʼᵛē
略奪する	ʼᵛtʰuʔ	聞こえる	ʼᵛtsʰa:
叩く	ʼᵛdō	知らせる	ʼh̄kɛʔ h̄tō
取る	ʼlē	盗む	ʼh̄ku ʼjaʔ
行く	ʼᵛdu	押す	ʼh̄tjuʔ
完全である	ʼtsʰō ɕu	飲みこむ	ʼmɛ: ʼᵛmō
道を譲る	ʼljā lə ʼpʰe: kʰa kʰa	終わる	ʼᵛəʔ
もむ	ʼtuʔ	忘れる	ʼᵛdze: tʰjə
撒く	ʼh̄tɕu	餌をやる	ʼᵛljoʔ
小便する	ʼh̄tɕo: ʼh̄tō	尋ねる	ʼtə
播種する	ʼsʰa ʼᵛbē ʼh̄tjəʔ	吸い込む	ʼla ʼᵛzuʔ
ゆるめる	ʼᵛdɔ:	好む	ʼᵛga
掃く	ʼᵛtsʰaʔ	下りる	ʼma puʔ
殺す	ʼh̄seʔ	卵を産む	ʼᵛgo wa ʼᵛgō
日向ぼっこする	ʼᵛə ma ʼᵛgeʔ	雨が降る	ʼtɕʰə ra ʼpəʔ
稲光が走る	ʼᵛluʔ ʼᵛdē		

怖がらせる ʰtu?
 陥没する ʰdu pə lə ʰme ʰpu?
 信じる ʰji: tɕʰə
 思う ʰt̃e
 思い出す ʰla t̃e
 したいと思う ʰh̃sā
 似る ʰŋda
 消化する ʰɕu wa t̃h̃jə
 消える ʰŋə ŋō
 腫れが引く ʰh̃t̃ō ʰi dza ma ʰmi?
 削る ʰni?
 気をつける ʰka l̃e / ʰi zə? ʰi zə?
 笑う ʰŋga:
 書く ʰŋde
 下痢する ʰh̃to wa ʰi zu?
 休む ʰi ni: ʰsu ʰh̃ta?
 学ぶ ʰi z̃ū
 探す ʰh̃tse:
 押さえる ʰi dzə
 かゆい ʰsə za
 育てる ʰh̃su
 揺れる ʰtsʰe pʰe ʰi zō
 揺する ʰi zu?
 嘔む ʰsh̃u ʰh̃ta?
 必要である ʰŋgə:
 引き入れる ʰljā ʰh̃ə?
 秘密にする ʰh̃sā ʰi dzə?
 勝つ ʰta?
 迎える ʰh̃sā
 抱擁する ʰt̃ō mə ʰh̃t̃e?
 泳ぐ ʰt̃ɕʰu ʰh̃tse:
 持っている ʰz̃u?
 (動物が) いる ʰz̃u?
 存在する ʰŋō
 出会う ʰh̃t̃ə?

めまいがする ʰŋgu ʰi zu? ʰŋkʰə:
 許可する ʰt̃ɕʰo?
 (家に) いる ʰŋdu?
 増える ʰja mō
 瞬きする ʰi mi? ʰi da?
 抽出する ʰh̃t̃ɕō
 摘む ʰh̃to?
 立つ ʰja lū
 大きくなる ʰla t̃ɕʰə
 かさが増す ʰla mō
 腹が張る ʰh̃to wa ʰt̃ɕʰə bu ʰre?
 火がつく ʰmi ʰɕʰu:
 (寒さで) 風邪を引く ʰñtsʰa?
 召集する ʰtsʰe ʰñdzu?
 探し出す ʰtsʰe ʰl̃ə: tsʰa?
 蒸す ʰh̃tsu:
 知っている ʰha ʰku
 織る ʰtu:
 指す ʰpʰə ru:
 腫れる ʰja ʰh̃t̃ō
 煮る ʰla ʰh̃tsu:
 ひっつかむ ʰi zō
 振り返る ʰtsʰe kʰa ʰt̃e:
 角を曲がる ʰi d̃u t̃ɕʰa ʰh̃k̃e:
 追いかける ʰti:
 準備する ʰta: ta? ʰi zu
 歩く ʰŋdu
 呪う ʰkʰa ʰi da:
 (硬いものに) 穴が開く ʰla ʰñdzē
 酔う ʰi zə
 座る ʰŋdu?
 する ʰi zu
 夢を見る ʰi mō l̃ā ʰi mō
 商売する ʰtsʰō ʰi dzə?

その他の品詞類

のみならず ʰma tsʰɛ? / ʰa ʰt̃ɕi? ʰma re?
 ほとんど ʰa ʰdzi ʰdzi
 もちろん ʰre?
 たった今 ʰa ʰi d̃ə

本来的に ʰa ʰmi:
 そして ʰta
 とても ʰt̃ə ʰmō ʰmbu
 まだ ʰi d̃ō la ʰju? / ʰta zō ʰju?

今すぐ	ˈta s ^h õ s ^h a	再び	ˈjə ⁿ dza
～か	ˈʔa	少なくとも	ˈʔa dɛʔ mə ts ^h ə
一緒に	ˈfi dɛ: h tɕiʔ	もっとも	ˈmõ ^m bu
必ず	ˈʔa ^{fi} ni: ba ˈma ts ^h iʔ ^{fi} ge:	最後に	ˈtɕ ^h ə nɛ:
～もまた	ˈʔa la ˈjõ / ˈjõ k ^h o ˈts ^h a:	突然	ˈʔa za
それから	ˈfiõ la		